音が求められるチャネルシーンは多岐
ている

# 情報を提供

## の分析レポートで

## 導入

## 行・地銀20行で

大手行から証券会社、信用金庫などで、同社の通話録音装置「VR-508H」は、電話の通話録音から対面録音まで幅広く利用されている。録音は最大8回線で窓口録音に5回線、通話録音に3回線といった振り分けもでき、営業店の様々なニーズに対応する。導入も約50万～60万円でス

どが対象。各国をカバーするアナリストが経済情勢や金融市場のトピックスを解説し、大手企業を業種別に分析したレポートを四半期ごとに配信する。

第1号は今年3月に発行。対外債務の大きいミャンマーにおける資本市場の問題点やASEAN諸国でのイスラム債発行に伴う資金調達の状況、タイの政治リスクなど22ページにわたってデータを交えながら分析結果を詳細に報告している。

アジアに海外拠点が少ない大手行や地銀では、現地情報が乏しく、「アセアン・モニター」

セル機能でさらなる音質の向上を目指す。

**通録データ解析し営業シーンで活用**

一方で、国内外の金融機関に通話録音ソリューションを提供するなど豊富な実績を持つベリントシステムズジャパンは、顧客の声（VoC）分析ソリュ

# 顧客管理システムを拡販

## エー・ソリューションズ

エー・ソリューションズは、6月9日から金融機関向けの顧客管理システム「A's MILION」を発売した。勘定系のサブシステムとして、安価で柔軟な運用が強み。13年2月に直販系運用会社の鎌倉投信で導入（13年7月26日号12面既報）。実績を積み、他の投信会社や販売会社向けに販売を本格化する。

同システムの特長は、帳票類を独自にレイアウトでき、定額制

の電子交付サービスであること。投信販売後の目論見書、残高報告などの配信で、大幅にコスト抑制が可能。また、既存顧客との取引情報の入出力以外に、見込み顧客を洗い出せるため、セミナーへの案内状、各種資料の送付など、顧客誘致活動とリンクできるのも強みだ。フロントとバック業務の情報連携が円滑に行え、スマートフォンやタブレット端末への展開にも有効に機能する。

# 名刺サイズの監視カメラ発売

## アクシス

縦型撮影モードに対応しており、通路などの監視にも適している

アクシスコミュニケーションズ（アクシス）は5月27日、屋内用小型監視カメラの最新機種「AXIS M1025」を発売した。名刺サイズと小型ながら、高解像度の映像録画を実現。金融機関の営業店に設置することで、

容易にデジタル監視体制を構築できる。

同機は、HDTV1080pの高解像度映像を撮影できる。動画圧縮形式は高精細・低容量な次世代圧縮技術H・264に対応。LANケーブル経由で電力を供給するPoEや本体に挿入したメモリーカードへの映像保存など、使い勝手を追求した。さらに、microHDMI端子を備え、モニターに接続するだけで、リアルタイム監視が可能。価格は4万1800円。

# 標的型攻撃対策で新製品

## 未知のマルウェアを検知

### フォーティネット

フォーティネットジャパンは6月6日、標的型攻撃への新型対策製品「FortiSandbox-1000D」を発売した。導入することで、未知のマルウェア検知が可能となり、金融機関を狙う標的型攻撃への対策に効果を発揮する。

同製品はサンドボックス機能を提供する。サンドボックスは、PCに見立てた仮想領域で疑わしいプログラムを実際に実行して挙動を分析することで脅威を検知する。そのため、未知のマルウェアであっても検知できるのが特徴。

通常のサンドボック

ス機能は処理にかかる負荷が高いのが課題だった。同機は、仮想環境で解析する前に、アンチウイルス機能や脅威データベース照合などを活用し、フィルタリングを実施。これにより、サンドボックスにかかる負荷の軽減を図っている。

個別金融機関を対象にした標的型攻撃では、未知のマルウェアが利用されることが多く、同製品を採用すれば、攻撃を未然に防ぐことができる。

# マックマシンツール

## 機密文書を職場で溶解

### 環境配慮で情報流出防ぐ

### 金融機関も導入

【大阪】マックマシンツールは、金融界へ、環境にやさしく機密文書の流出を防ぐ「環境対応型溶解式紙処理機ファイン・ペーパー・ブロック」を提案。永和信用金庫が設置したほか、畿内の信金など金融機関が導入を検討している。

同機はオフィスに設置し、機密文書を溶解してブロック状に圧縮する。外部業者への処理委託と比較すると、職場から外に出す必要がなく、情報漏えいリスクを抑えられる。また、シュレッダーのように紙繊維を裁断しないのでリサイクルに適している。さらにシュレッダーごみの多くは焼却処分されているが、大阪市は13年10月から事業系の資源可能な紙類の焼却工場への搬入を禁止するなど、全国的に紙ごみリサイクルの取り組みが高まっている。環境配慮から紙溶解機が注目されている。

機密文書をオフィス内で溶かし、ブロック状に圧縮

# セキュリティー支援サービス発売

### プロティビティ、日本HPと共同で

プロティビティは6月5日、日本ヒューレット・パッカード（日本HP）と共同で「情報セキュリティモニタリング支援サービス」を発売した。同サービスを利用することで、外部からの侵入だけでなく、内部不正に対応するセキュリティー体制を構築できる。

同サービスは、日本HPが販売するセキュリティー情報イベント管理システム「HP ArcSight」を導入。同システムは、端末やサーバー、システムなどのログを収集し相関分析を実施する。内部不正などの迅速検知が可能。

プロティビティが不正リスクの特定・評価やシステム要件の設定、金融機関の行職員への教育、運用支援などを実施。日本HPが同システムの導入や試験運用などを担当する。これにより、外部からのサイバー攻撃や内部不正をいち早く察知し、被害を最小限にすることができる。


報マガジン

6/16発刊

べてがわかる

No.53

Strategy 【NEC】

タブレット端末を活用し、商品情報や金利を自動配信

金融システムの課題を解決する
コピーデータソリューション
～アクティフィオが提案するシンプル統合管理～

金融機関ネットワークを